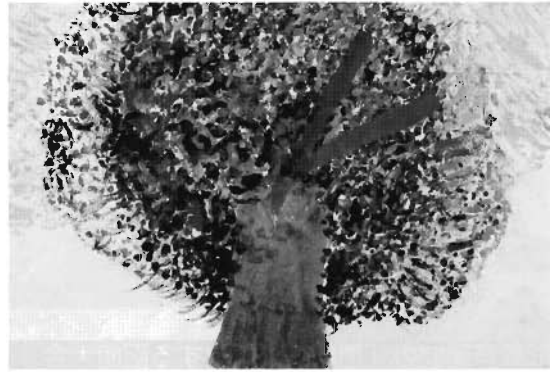




大きくなったらピアノの先生になりたいと毎日がんばって練習している春花さんと、黒くて大きなピアノがとても表現豊かに描かれています。

『将来の夢はピアノの先生』

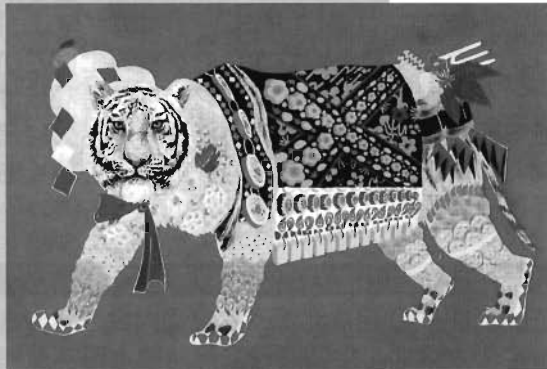
千歳市 第2わかば幼稚園年長 国井 春花さん



大地に根をはり大きく高くのびる大樹をみごとに表現できました。葉を様々な緑色で点描している工夫は作者の個性を感じます。

『大きな空の木』

札幌市 緑丘小学校4年生 柴崎 ゆうみさん



今年の干支のトラを、お正月のおせち料理に使う食材でひとつひとつ細かいところまで詳しく表現されたみごとな作品です。

『賀正』

芦別市 芦別中学校2年生 鈴木 日苗さん



首を曲げ草を食べる牛の表情はとても幸せそうです。線に囲まれた牛の白と黒のコントラストも美しく調和しています。心をこめて描いた牛が今にも動き出しそうです。

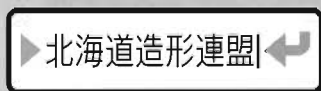
『牛』

ニセコ町 ニセコ小学校1年生 五十嵐太一くん

第36回教育美術展奨励賞作品より

<http://hokuzou.kir.jp/> で他100点の作品もご覧いただけます

検 索



建物の構造をしっかりとらえ立体感のある構図として描かれています。落ち着いた色合いで細かいところまでいねいに表現されています。手前の花の色もとてもすてきです。

『パワフルな花屋さん』

小樽市 望洋台小学校6年生 小林 初香さん



<目 次>

・第36回教育美術展奨励賞作品	1 (表紙)
・北海道造形教育連盟会長挨拶	2
・今年度の研究について	3
・第60回全道造形教育研究大会函館大会のご案内 ..	4~5
・ネットワーク部会の取り組みから	6
・活動報告 (オホーツク・留萌地方美術教育研究会) ..	7
・第37回教育美術展応募要項について	8



北海道
造形教育
連盟報

No.130 2010.7.1発行

発行 北海道造形教育連盟

会長 菅原清貴 (札幌市立幌西小学校)

事務局 札幌市立盤溪小学校 稲貫 順
〒064-0945

札幌市中央区盤溪2-2-6

TEL(011)642-3223・FAX(011)642-3287



「還暦」に感激の大会を つくりあげましょう！

北海道造形教育連盟

会長 菅原 清貴

(札幌市立幌西小学校長)

造形教育連盟の「還暦」を記念する函館大会

北海道造形教育連盟は、昭和26年11月24日に北海道図画工作連盟として設立されました。60年の長きにわたり多くの先輩諸氏が北海道の造形教育を支え、その振興のためにご尽力いただいた事は衆目の一致するところ です。

さて、その「還暦」を迎える今年、函館において全道大会が開催されます。戦後函館の地では、1954年の第4回大会を皮切りに、これまで造形研究大会を7回開催していただきました。記念の年に、本道の玄関である函館で大会を開催できることは、本連盟の新たな門出にふさわしいものと思います。函館・渡島・檜山の道南地域における実践発表の場として、今大会の果たす役割は大変大きく、一層の充実した研究の深まりと広がりが期待されます。

「人間っていいな」の気持ちを広げたい

さて、20世紀は米国が世界の覇権を握った世紀といえます。本世紀となり同国を中心とした金融至上主義の破綻も手伝い、その国力の低下が顕著になってきました。それとともに中国を中心とした新興国の経済発展がめざましく、米国一国の支配は次第に揺らいできた感があります。このようなパラダイム転換が進行するなかで、我が国は「失われた20年」から立ち直ることができず、世界の中での存在感が益々低下しつつあることは否めません。また、化石燃料の大量消費にともなう地球温暖化がもたらす気象変動なども深刻で、世界は不安定・不確実・複雑・不明瞭な時代に突入していきようとしています。

この激動の先が見えない未来を生き抜く人間像とはどのようなものなのでしょうか。私は、そのような時だからこそ、豊かな感性を持ち、他の人の心を

理解するあたかな心根の人間が必要になると確信しています。造形教育は、自らの表現に自信を持ち、他の表現をも認める心を大切にする教科です。表現することに躓いた時、教師や友達からの「助け舟」が、推進力となり「もう少し頑張ってみよう」という意欲につながります。「楽しいなあ」「素敵だなあ」「美しいなあ」と呟く数を増やす活動を積み上げていくことが、「人間っていいな」と感じる気持を広げていきます。その延長線の上に、必ずや混迷の時代を切り開くポジティブな生きる力が広がっていくものと考えています。

全国大会を北海道の総力で価値あるものに

さて、2011年7月は北海道で全国大会が開催されます。この大会は、全国造形教育連盟と日本教育美術連盟の共同開催という画期的な大会となります。この大会の柱は授業中心・子ども中心の大会にするというものです。二つの全国団体がその持てる力を出し切って、次へのステップとする場が、北海道であるのです。私達連盟は、困難を乗り越え全力でそのステージを創ることが60周年の祝いでもあると考えています。大会の実行委員会も立ち上がり、いよいよ本格始動です。今年の9月3日(金)には、連盟の60周年記念式典を兼ねた「全国大会プレ大会」を開催することにしています。皆様のご参加を心からお待ちしています。

最後に大変嬉しいお話です。この夏に、日高地区で新たなサークルが芽吹くことが予定されています。次号では、その様子もご報告できると思います。未来を開拓する連盟として、これからも共に造形活動の振興のため頑張っていきましょう。

北海道造形教育連盟役員（部長会構成スタッフ）

- 会 長 菅原 清貴 (札幌市立幌西小学校長)
- 副 会 長 富田 賢司 (札幌市立札幌北中学校長)
- 副 会 長 伝住 修一 (江別市立野幌若葉小学校長)
- 副 会 長 渡辺 盛二 (旭川市立近文第一小学校長)
- 副 会 長 中村 吉秀 (函館市立亀尾小中学校長)
- 副 会 長 奥田 泰朗 (弟子屈町立昭栄小学校長)
- 事務局 長 稲實 順 (札幌市立盤溪小学校長)
- 事務局次長(研究) 中居 正光 (札幌市立菊水小学校)
- 事務局次長(研究) 川島 正夫 (札幌市立幌南小学校)
- 事務局次長(研究) 金子 睦 (札幌市立中央中学校)
- 事務局次長(事業) 東 尚典 (札幌市立平岡中央小学校)
- 事務局次長(事業) 福島由紀子 (札幌市立幌北小学校)
- 事務局次長(事業) 向井 正樹 (札幌市立あいの里東中学校)

- 監 査 木村 伸仁 (函館市立銭亀沢中学校)
- 監 査 篠原 寛 (札幌市立西小学校長)
- 総務部長 田口 和男 (札幌市立厚別西小学校長)
- 総務部長 土井 善範 (札幌市立光陽小学校長)
- 総務部長 今 裕子 (札幌市立福住小学校長)
- 庶務部長 箭内 浩之 (札幌市立真駒内曙小学校)
- 広報部長 松本 和彦 (札幌市立発寒小学校)
- 事業活動部長 八田 博之 (札幌市立中央小学校)
- 事業研修部長 石川 早苗 (札幌市立宮の丘中学校)
- 研究部長 湯浅 大吾 (札幌市立伏見小学校)
- ネットワーク 小林 知広 (札幌市立幌西小学校)



『“わたしを創る”～自立と共生の造形教育をめざして』

北海道造形教育連盟

研究部長 湯浅大吾

(札幌市立伏見小学校)

創造的な想像力を引き出す造形教育を

北海道造形連盟の顧問会に参加した時のことです。顧問の先輩から「最近の子どもたちからは、創造的な技能の衰えを感じる」というお話がありました。そのとき、小学校2年生の子どもたちと生活科の学習で、藻岩山に行き集めた落ち葉や木の実で表現活動に取り組むという横断的な学習に取り組んだときのことを思い出しました。様々な色や形の造形美を楽しみながら、嬉々として落ち葉を集める子どもを見てふと考えました。「平安や江戸の子どもも同じことを感じ、同じことをしたのではないか」と。技能の獲得や高まりは、「こうつくりたい」という創造の意志がベースになってくると考えます。つまり、子どもが衰えたのではなく、子どもの中に本来備わっている「感性」を造形教育の中で引き出せていないということが問題なのだと考えます。

また、顧問の先輩からは、「研究は、子どもへの理解を深め、子どもに目を向けた方向が大切」との指摘を受けました。

“わたしを創る”～自立と共生の造形教育をめざして

この北海道造形教育連盟の研究主題はまさに、どのような学びが保証されると子どもの創造的な想像力は働き出し、創造の意志をもって動き出すのかを探究するものです。造形することを通してどんな生きる力を子どもに育むのか。交流を深めお互いに高め合う中で、各地区サークルの具体的な取組から検証され、一般化されていくことをめざしていきます。

パワーあふれる函館に期待するもの

今年の2月に、函館大会に向けた授業者・提言者を対象にした研究説明会に参加する機会を得ました。函館市内のみならず近隣から他校種にわたる多くの参加がありました。

大会テーマ

創造！ときめき！実感！

研究主題

感性と知性の出会い 心うるおす造形活動

瀧本事務局長・西館研究部長の研究概要説明では、参加者との熱い議論が交わされました。工藤北海道教育委員会指導主事の講演会からは、新学習指導要領に込められた具体的な授業像が分かりやすく示されました。参加された皆さんからは、進むべき方向が共有化された一体感が伝わってきました。

そのあと参加させてもらった新年会では、参会したOBの方々の多さに驚かされました。「裏方のことは心配するな。大会作りに専念しなさい」というOBの方々の言葉に、函館美術教育研究会への愛着の強さと頼もしさを感じました。中村会長からは「先達たちが築いてきた道南の造形教育は、地域のもので支えていく。大会はその担い手たちが逞しく育っていく機会にしたい」という思いもお聞きすることができました。

美術教育を取り巻く環境は、ますます厳しさを増しています。会長のもと大会作りを通して函館地域の皆さんが、手を携え心をつなぐことで地域の造形教育を支えていこうという力強い意志を感じました。これは、同じ問題を抱える北海道や全国の大会参加者に勇気を与えることでしょう。

これまで大会作りにご尽力されてきた皆さんに、心より尊敬と感謝の意を表したいと思います。

来るべき全造連・日美連共同開催による北海道大会に向けて

函館大会には、来年行われる全造連と日美連共同開催による北海道大会に向けて、両団体の代表の方も参加されます。私はその折に、北海道・全造連・日美連から各20名、計60名ほどの助言者と提言者の選出をお願いする予定です。それに伴い、全国大会用のメーリングリストを開設し、日常的に交流を深め関係を密にし、一体感のある大会にしたいと考えています。

広大な北の大地で築き上げることができたチーム北海道のつながりを、参加した全国の皆さんにも広げていく。是非、そんな大会にしたいと考えています。そのためには、皆さんの協力が不可欠です。よろしくお願いたします。



第60回 全道造形教育研究大会

函館大会

○大会テーマ **創造! ときめき! 実感!**

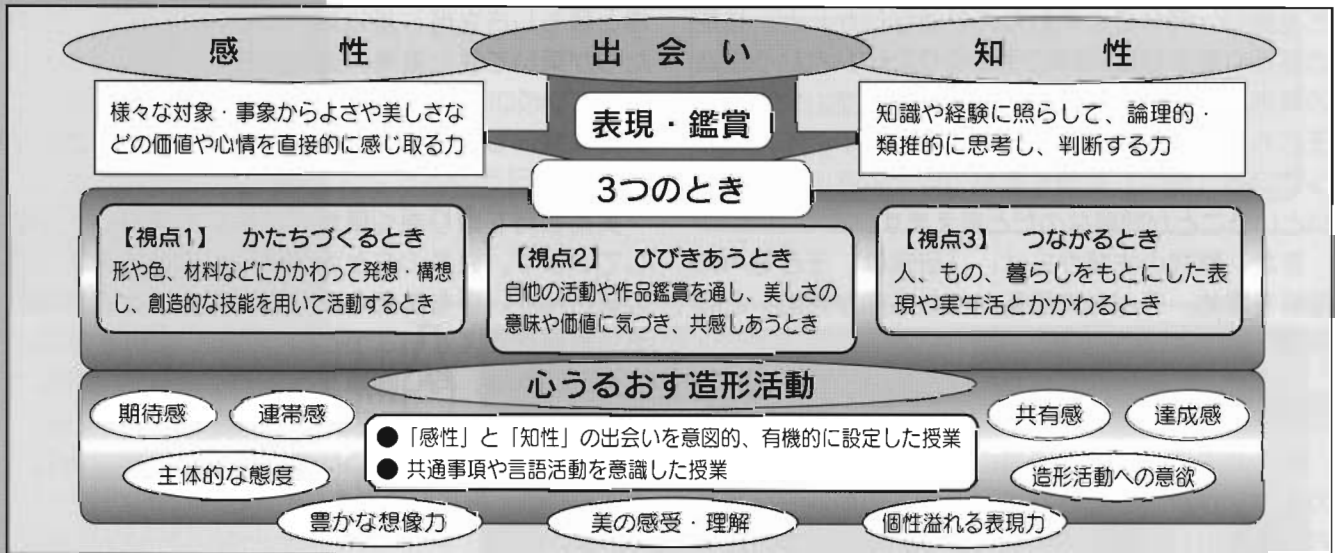
○研究主題 **～感性と知性の出会い 心うるおす造形活動～**

[会期] 平成22年(2010年) 7月28日(水)

[会場] 函館市立昭和小学校 太陽の子幼稚園

(全体会・小中学校公開授業・講演・分科会) (幼稚園公開保育)

自分なりの美しさを見つけ、つくりだそうとすること、造形体験や相互の認め合いから喜びを味わうこと、活動が実生活に生かされると体感することを共通のテーマとして設定しながら、造形的な資質や能力の育成を図ってまいります。そして、子どもたち一人一人の人間性を磨き、生涯にわたって必要とされる豊かな情操を培っていくことが、やがては未来社会を豊かで実りあるものにしていくという確信のもと、造形教育の果たす役割や重要性を広く発信していきたいと考えております。



研究の全体構造図

日程

※受付は、昭和小学校で行います。幼稚園会場との行き来は、無料送迎バスをご利用下さい。

8:20	8:50	9:50	11:00	12:30	13:30	16:00	18:00
受付	開会式 全体会 概要説明	9:55~10:45 公開授業(中) 10:00~10:45 公開授業(小) 10:05~10:50 公開保育(幼)	講演	昼食	分科会 研究協議	移動	レセプション 閉会式
				13:00	15:00		
				ネットワーク会議			
昭和小学校	昭和小学校・太陽の子幼稚園		昭和小学校			五島軒本店	

講演

演題 **「子どもの世界をとらえるまなざし」**
 講師 国立教育政策研究所教育課程センター教育課程調査官
 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 **奥村 高明 氏**
 プロフィール 宮崎県内小中学校教諭、附属学校、県立美術館を経て現職。新学習指導要領や評価規準の作成に携わる。著書論文多数、近著に「子どもの絵の見方(東洋館)」「造形活動における相互行為分析の視座(日本美術教育連合)」等。

公開授業

校種・学年	分科会テーマ	題材名	授業者
幼稚園	年中	かたちづくりとき 夏だ！海だ！！	稲垣 絵梨 (太陽の子幼稚園)
	年長	ひびきあうとき キャンプだホイ！！	小川原 愛 (太陽の子幼稚園)
小学校	1年	かたちづくりとき ともだち いっぱい	堂前 智子 (函館市立昭和小)
	4年	ひびきあうとき 光でうつし出す世界より	水島 賢久 (函館市立中の沢小)
	1年	つながるとき わくわくこうせつえん	中谷 文武 (函館市立高丘小)
中学校	1年	かたちづくりとき 100色色相環に挑戦！！	佐々木壮一 (函館市立的場中)
	3年	ひびきあうとき 石こうで抽象彫刻を作る	九千房政光 (函館市立旭岡中)
	3年	つながるとき 母校の歴史に名を刻め！ ～50周年モニュメントを考える～	櫻井 純 (函館市立深堀中)

分科会

番号	分科会名	提言者	助言者	司会者	記録者
1	幼稚園 かたちづくりとき ひびきあうとき つながるとき	吉野 貴子 (函館市立戸井幼稚園)	小平 征雄 (道教育大学函館校教授) 佐藤 篤正 (亀田ゆたか幼稚園長)	小林 恵理子 (道教育大学附属函館幼稚園)	阿部 真琴 (函館市立五稜中)
2	小学校 かたちづくりとき	山田 光 (函館市立あさひ小) 松田 恭子 (道教育大学附属函館小)	村國 壽英 (八雲町立相沼小校長) 谷口 光伸 (江差町立南が丘小教頭)	佐郷谷 滋 (函館市立中の沢小)	西 貴子 (函館市立千代ヶ岱小)
3	小学校 ひびきあうとき	小笠原 博子 (函館市立あさひ小) 橋本 英子 (帯広市立広陽小)	細川 敬太郎 (北斗市立久根別小校長) 篠原 寛 (札幌市立西小校長)	三品 充子 (函館市立中央小)	久保杉 由佳 (函館市立あさひ小)
4	小学校 つながるとき	赤坂 巖男 (函館市立中の沢小) 石岡 寿子 (松前町立白神小)	山本 良子 (函館市教育委員会教育指導課指導主事) 船橋 恭二 (七飯町立大中山小教頭)	高島 純 (七飯町立大沼中鈴蘭谷分校)	後藤 博子 (函館市立上湯川小)
5	中学校 かたちづくりとき	木村 麻岐 (北斗市立浜分中) 中井 一夫 (道教育大学附属旭川中)	佐藤 昌彦 (道教育大学札幌校教授) 泉 雄大 (稚内市立天北中教頭)	笠松 英治 (函館市立戸倉中)	林 弘実 (函館市立湯川中)
6	中学校 ひびきあうとき	眞鍋 幸恵 (上士幌町立上士幌中) 平井 歩 (札幌市立啓明中)	花岡 康成 (今金町立種川小教頭) 西岡 裕英 (渡島教育局義務教育指導課指導主事)	岩館こずえ (函館市立亀田中)	米田 康子 (函館市立潮見中)
7	中学校 つながるとき	冨尾 拓 (道教育大学附属函館中) 山崎 正明 (千歳市立北斗中)	仲井 靖典 (函館市立凌雲中教頭) 佐々木 幸 (道教育大学釧路校准教授)	三谷 龍司 (函館市立北中)	長峰 詠子 (函館市立西中)



各地区サークルの活動をつなぐネットワーク ～合言葉は、TEAM HOKKAIDO～

北海道造形教育連盟
ネットワーク部長 小林 知 広

地区サークルの活動を つなぎ合わせるネットワーク

ホームページ（HP）やメーリングリスト（ML）を通して情報発信を中心に全道のネットワークづくりを行ってきました。年3回行われるネットワーク会議では、各地区サークルで行われた、研究授業・作品展などの事業・実技を含めた研修会などの実践が報告され、各地区サークルが抱える問題やこれからの方向性を共有できる、意味の深い時間になっています。お互いの活動に共感し、取り組みによる子ども達の変容を真剣に議論することで様々な地域が結び付き北海道全体の一体感となってきています。そこで生まれた合言葉が、

「TEAM HOKKAIDO」です。

そして、今回の全道大会では各地区サークルを紹介するコーナーを設置し、たくさんの方にTEAM HOKKAIDOの活動を知っていただきたいと思って

います。また、みなさんの声をMLなどで紹介していくことが、これからのネットワーク部の大きな役目となっていくと考えています。

ML 登録者募集中です!!

各地区サークルの授業や事業の情報、研究主題についての意見交換などを一緒に情報交流しませんか？たくさんの方にご参加いただき、多くの方の声で交流したいと思います。

メーリングリストの登録を希望される方は、hokuzou.post@kagoya.net まで、メールにてご連絡ください。

造形教育連盟

— たくさんのご出席に 感激のひとつときでした —

北海道造形教育連盟が誕生して今年で60年という節目を迎えます。その間、北海道の造形教育に情熱をそそぎ、ご尽力いただいた顧問の方々との集いが6月12日、三川屋会館で行われました。みなさんともお元気で現役の私たちにいろいろなご示唆をいただくことができました。また、来るべき23年度の全国大会に向けてたくさんの方の励ましの言葉もいただきました。チーム北海道の根幹を支える顧問の方々にはこれからもお世話になることが多くあります。今後も北海道の造形教育のためにお力をお貸しくださるよう、お願いいたしました。



オホーツク造形教育連盟 活動紹介

網走市立潮見小学校 塩浦 亜紀

オホーツク造形教育連盟の研究テーマは「個・創・喜・感」～一人ひとりが創造的な喜びを実感するために～です。会員数は20名ほどで、年に一回、研究授業を行って実践の交流を図っています。また、研究授業とあわせて行われる実技研修では、描画や工作の基本的な技術や、楽しいアイデアを大先輩の先生方から学ぶ良い機会となっています。過去には実技研修で凧作りを行い、冬の網走湖の氷上を駆けまわったりしたことも……！



【主な活動内容】

- ・オホーツク造形連盟研究大会
- ・実技研修会
- ・会報の発行
- ・網走地方教育研修センターへの講師派遣
- ・全道造形教育研究大会への参加

今後も充実した活動を目指していきます。

留萌地方美術教育研究会の活動について

留萌市立羽幌小学校 松岡 宏悦

本研究会は、昭和45年に「子どもの作品を語る会」として発足しました。昭和51年より、現在の留萌美術教育研究会となりました。現在は会員が20名と少なくなりましたが、毎年精力的に活動しております。本会では、隔年で研究大会と実技研修会を行っています。



昨年は、実技研修会を行いました。クラフトリオのK-クレイという樹脂粘土を使った立体造形を自分でつくってみました。造形を学ぶものはやはり自分の手を動かしてものをつくるのが大切だと思います。

今年度は、研究テーマに迫るため公開研究授業を行います。6年生の図工の授業をもとに、「豊かな心を育む教育」という研究テーマに迫っていきたいと考えております。

本会では作品を語る会を毎年開いています。子どもたちの作品を持ち寄って、悩みやセールポイントについて話し合いをします。若い先生の楽しい実践に「もっとこうしたらよくなるよ！」というアドバイスがたくさん出てきます。若い先生にとっては、よい作品作りのヒントになり、喧々豊富な先生方にとっても、新たな題材に刺激を受けるよい機会にもなっています。また、留萌管内の絵画展と版画展を隔年で行っています。今年は版画展の年で、子どもたちの力作を管内4カ所で展示した後、1冊の版画集『版』にします。

毎年、会員数が減り続けている本会ですが、子どもたちに図工美術の楽しさやすばらしさを伝えるため、がんばっていきます。



第37回北海道教育美術展

作品募集のお知らせ

応募の対象

☆道内の保育園、幼稚園、小学校、中学校に在籍する園児、児童、生徒

応募の規定

☆絵画や版画、デザイン画などの作品で学校（園）を窓口として応募する。

☆大きさは4つ切りとする。それ以下の作品は4つ切りの台紙に貼る。ただし中学校については八つ切りの作品でも受け付ける。

☆今年度内に作成された作品で一人1作品の出品とし、作品裏面に応募票を貼る。
(応募票は剥がれ落ちないようにしっかりと固定してください。)

～作品規定～

- 積み重ねてもつぶれない、かさばらないこと
- 接着が頑丈で剥がれたり外れたりしないこと
- 画紙展示ができる重量であること

◇審査会と一緒に参加しませんか?◇

12月26日(日)、27日(月)の二日間、札幌市立幌西小学校で審査会が行われます。例年、札幌市内の先生方はもとより、各地区サークルからもたくさんの先生方が審査会に参加されています。全道から集まった2万点近くの作品を見ることを通じて実践について研修しあう絶好の機会です。

問い合わせ 札幌市立中央小学校 八田博之
TEL: 011-261-6568 FAX: 011-261-5723

締切・送付先

☆平成22年12月15日→締め切りを過ぎたものは受付できませんのでご注意ください。

☆〒064-0810 札幌市中央区南10条西17丁目1-1

札幌市立幌西小学校 教育美術展係 宛

北海道教育美術展

会期：平成23年1月7日(金)～11日(火)

会場：道新ギャラリー（札幌市中央区大通西3丁目）

○主催：北海道造形教育連盟・北海道新聞社 ○後援：北海道教育委員会

○協賛：さくらクレパス・札幌東急百貨店

創立60周年記念公開授業研究会へのお誘い

～平成23年度全国大会プレ大会～

平成23年度の全国大会を前に、今年度はプレ大会を札幌で開催します。全道たくさんの方にご参加いただき、活発に議論を重ねながらチーム北海道のつながりをより強固にしていきたいと考えています。

日 時：平成22年9月3日(金)

会 場：札幌市立円山小学校・ホテルライフオーブ札幌

授 業 者：宮田珠世先生(2年生)

全体講評：文部科学省 奥村高明調査官

13:20 受 付
13:40～ 公開授業
14:35～ 分科会
18:00～ 記念式典
18:30～ 祝 賀 会

あ と が き

130号では地区サークル情報としてオホーツク造形教育連盟の塩浦先生と留萌地方美術教育研究会の松岡先生に執筆をお願いしました。地区運営にお忙しい中、ご協力いただきましてありがとうございました。また60周年記念公開授業、そして来年度の全国大会、それと日高地方で造形サークルが誕生するという嬉しい知らせも聞こえてきます。チーム北海道がよいよ動き出しました。もうすぐ函館大会です。全道の仲間と大会でお会いできるのを楽しみにしています。

<北海道造形教育連盟 広報部> 松本和彦・大高雅子・櫻田 悟